

## 佐伯市自転車活用推進計画（素案）に係るパブリックコメント結果一覧

| No. | 意見   | 回答   | 計画への反映箇所  |
|-----|--|--|---|
| 1   | <p>サイクリングコースが多すぎて混乱を招かないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツールド佐伯とさいきりんぐが合わさるとコースが多く、選ぶのに手間となる。</li> <li>・ さらに、延岡などとの連携コースが追加されると、さらに混乱をさせないか。</li> <li>・ 景観の優れたおすすめコースは、どのコースなのか。</li> <li>・ 基準とするコースは想定しているのか。</li> </ul> | <p>九州一広い佐伯市を多くのサイクリストに訪問していただくため、また本市が有する風光明媚な海岸部や山間部の景色を楽しみながらサイクリングができるよう、多くのコースが設定されています。</p> <p>なお、他市との連携コースについては、国のモデルルートへの登録も考えられることから、現状のサイクリングコースとは分けて整理する予定です。</p>  | <p>【8ページ】第2章1 サイクルツーリズムの現状 (3) サイクリングコース③に、コースの概要等を記した既存のコース一覧を記載します。</p> |
| 2   | <p>サイクルステーションは、「温浴施設」とセットとすべきでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅やよい</li> <li>・ 上浦B &amp; Gおよび塩湯（しおさいの里でよいのか。）</li> <li>・ 鉱泉センター直川かぶとむしの湯および憩の森</li> </ul>   | <p>サイクルステーションについては、市内の各エリアにおいてバランスを考慮して配置したいと考えています。参考までに、ナショナルサイクルルートでは概ね20km毎にサイクルステーションを設置することが指定条件となっています。</p> <p>温浴施設に関しては、サイクルステーションとセットになっていることが望ましいですが、配置バランス等によりステーションとして設定していない施設については、立ち寄りスポットとして情報発信します。</p> | —   |

| No. | 意見   | 回答  | 計画への反映箇所   |
|-----|--|---|--|
| 3   | <p>かまえインターパークをサイクリステーションとするねらいは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ道を往復するコースという理解でよいのか。</li> </ul>   | <p>蒲江ICからのアクセスが良好なため、また観光案内所を有しており、将来的なレンタサイクル拠点として検討しているためです。</p> <p>かまえインターパークを拠点とするコースに関しては、国道388号～県道佐伯蒲江線～名護屋トンネルを通る周回コースのほか、たかひら展望公園への往復コース等を考えています。</p> | -  |
| 4   | <p>ツールド佐伯コース「蛇崎ポイント」のコース案内について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の交通量も多く、日常のサイクリングに安全対策が求められる。</li> <li>・番匠川、堅田川の土手沿いコースへの誘導が必要と思われる。</li> </ul>                    | <p>コース全体の案内看板について今後検討していきます。また、日常のサイクリングが安全に行えるよう、サイクリングコースの通行空間整備を計画します。</p>   | <p>【32～33ページ】第3章 目標2 施策⑦ (4) に「サイクリングコースの通行空間整備促進」の項目を追加します。</p> |
| 5   | <p>下り坂の安全対策は考慮されているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよしトンネル先の横川の下り坂</li> <li>・轟峠など</li> <li>・空の公園コースの路面が波をうっている。補修の必要性は。物流としても重要な道であるので、市道から県道にできないか。</li> </ul> | No.4の回答と同様です。   | No.4の回答と同様です。  |

| No. | 意見   | 回答  | 計画への反映箇所   |
|-----|--|---|--|
| 6   | <p>佐伯駅の駐輪場があふれかえる状況が生じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージアップも含めて、早急に改善の必要性を感じる。</li> <li>・放置自転車対策は考慮しているのか。</li> </ul>   | <p>現在、JR佐伯駅駐輪場のバリアフリー化工事により、観光案内所の駐車スペースを駐輪スペースとして一時的に拡大しています。今年度中にバリアフリー化工事が完了予定であるため、状況を見て観光案内所の駐輪スペースの拡大を現状のままとするか、解除するかを検討します。</p> <p>放置自転車については、上期・下期の計2回整理していますが、今後は年3回の整理を検討します。</p> | <p>【33ページ】第3章 目標2 施策⑧<br/>(1)において、観光案内所の駐車スペース見直しによる駐輪スペースの確保を検討する旨を追記します。</p> |
| 7   | <p>駅前から坂の浦へのルートは、交通量も多いので、配慮がいる。</p>   | <p>当該ルートについては、自転車通行帯の整備計画である「自転車ネットワーク計画路線」に含まれています。今後、国や県、警察署等の関係機関と詳細の対策内容について検討していく予定です。</p>   | —  |
| 8   | <p>サイクルスタンドが日常的に設置されることが、基本となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強風で飛ばされることのないような配慮がある。</li> <li>・片付けられるとそのままということにもなりかねない。</li> <li>・場所によっては、金属製スタンドで地面に固定することも必要。</li> <li>・配慮はあるのか。</li> </ul> | <p>サイクルスタンドについては、飛散防止のため柱にワイヤー等で結び付けているところもあります。台風等で飛んでいく恐れがある場合は一時的に片づけます。設置場所によっては、固定化も検討していきます。</p> <p>また、サイクルスタンド設置店舗へのサイクリスト誘客を図り、メリット感を出すことで、店舗との継続した協力体制を構築したいと考えています。</p>           | —  |

| No. | 意見  | 回答  | 計画への反映箇所   |
|-----|---|---|--|
| 9   | P21 (1) 目標値に設定根拠はあるのでしょうか。サイクルイベント参加者数目標については、どのように年間1,200人増加させるのでしょうか。フォローアップするにしても設定根拠がなければどのように評価するのでしょうか。 | 年間1,200人増加の根拠ですが、自転車イベントを複数回開催することを考えています。フォローアップ方法については、参加者数を把握する形で取り組む予定です。 | —  |
| 10  | P25 (2) 「ファンライドツアー」とはなんのでしょうか。  | 有名サイクリストが一般のサイクリストと楽しみながら自転車に乗るイベントのことです。                                     | 【25ページ】第3章 目標1 施策②<br>(2) の本文中に説明文を追記します。                          |
| 11  | P26 (1) 豊後大野市は良いのでしょうか。地理的な結びつきは強いと思いますが。   | 豊後大野市との連携について、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」等を通じた地理的な結びつきを活かし、広域サイクリングルートの設定を検討します。       | 【26ページ】第3章 目標1 施策⑤<br>(1) において、国のモデルルートへの登録を検討する自治体として豊後大野市を追加します。 |
| 12  | P29 (2) 「整備形態の選定は基本的に、整備の目途が立った路線から順次行う」とありますが、個別に整備形態を選定することで全体的に統一感のない整備になるのではないのでしょうか。                     | 道路の形態が一樣ではないことから、路線ごとに整備形態を選定します。その中で統一感のある整備となるよう考慮します。                      | —  |

| No. | 意見  | 回答   | 計画への反映箇所 |
|-----|---|--|----------|
| 13  | <p>P32 ②「※目標値はいずれも対象路線区間の距離とし、実整備距離は実行時に検討する」とは目標がないのと同じではないでしょうか。この目標値をどのようにフォローアップするのか分かりません。</p> <p>そもそも、計画が整備ありきのような気がします。自転車の走りやすい環境として道路を整備するのではなく、車を減らす取り組みに重点をおいた方が現実的ではないでしょうか。特に中心部については、車の乗り入れを規制するなどの方策を検討すべきではないでしょうか。</p> | <p>No.12の回答に記載のとおり、路線ごとに整備形態を選定するため、計画時点での詳細の整備内容が決まっていない状況です。今後、道路管理者や警察署と協議の上、実整備距離を含めて検討します。目標値のフォローアップについては、定期的な会議開催により行う予定です。</p> <p>また、国の指針により計画内に自転車通行空間整備を入れるようになっていきますので、その指針に則り計画を作成しています。</p> | —        |
| 14  | <p>P33 施策⑨ 自転車利用率向上のために民間事業所への自転車貸出サービスを検討するとありますが、そもそも市がそこまでする必要があるのでしょうか。それよりも上述のように自転車の走りやすい環境をつくるための規制等の環境整備が行政の行うことではないでしょうか。</p>  | <p>自転車が街中を走ることで、市民の目に留まり、自転車の活用について知ってもらいたいとの想いを込めて貸出サービスを検討しています。まずは市役所がモデル事業所となり、自転車の活用推進を進めていきます。あわせて、民間事業所にも自転車通勤者数の向上等について協力を要請する中で、自転車の貸出を検討していきます。</p>  | —        |
| 15  | <p>コース上および市内の主要な公衆トイレには、サイクルスタンドとのセットを基本設備とすべき。</p>   | <p>現在、市内6か所においてサイクルスタンドを配備するエイドステーション（トイレ等を有する休憩所）を設定していますが、今後、配置バランスを見て更なるエイドステーションの拡充に取り組めます。</p>  | —        |

| No. | 意見   | 回答  | 計画への反映箇所 |
|-----|--|---|----------|
| 16  | <p>運転免許証更新時および義務教育課程での自転車を含めた交通マナーの啓発強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車運転者には自転車利用者に対する思いやり不足が見られ、クラクションを鳴らす者もいる。</li> <li>・市外からのサイクリストを大事にする気持ちが、リピーターを生む。</li> </ul> | <p>運転免許証更新時の交通マナー啓発については、警察署への依頼を検討します。また、義務教育課程においては交通安全教室を実施しており、継続して取り組むこととしています。</p>        | —        |
| 17  | <p>トイレが不足してる地域がある。青山、木立、蒲江振興局～畑野浦間など。</p>  | <p>トイレについてはエイドステーションに併設するものですので、エイドステーションの拡充に取り組むことで一定距離間におけるトイレ確保を目指します。</p>                   | —        |
| 18  | <p>佐伯駅から坂の浦間のトンネルが、自転車の走行に危険がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧道の本田重工業に抜けるトンネルを活用すべきだが、暗い。</li> </ul>   | <p>当該ルートについては、自転車通行帯の整備計画である「自転車ネットワーク計画路線」に含まれています。今後、国や県、警察署等の関係機関と詳細の対策内容について検討していく予定です。</p> | —        |
| 19  | <p>海崎から笹良目間のトンネルが、自転車の走行に危険がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮八幡神社の下のトンネルを活用すべきだが、その先も代後地区に危険箇所がある。</li> <li>・海崎地区の線路山側の瀬戸坂トンネルを経由するルートを推奨すべきでは。</li> </ul>            | <p>当該箇所について、危険があることは認識しています。現在、当該箇所周辺の道路改良工事が行われていることから、今後の状況を見てサイクリングコースのルート変更等を検討します。</p>     | —        |

| No. | 意見   | 回答   | 計画への反映箇所 |
|-----|--|--|----------|
| 20  | サイクルツーリズムで先行する四国の交通の要所に、パンフレットをしっかりと設置していただきたい。  | 【28ページ】第3章 目標1 施策⑤ (3) に四国との広域連携について記載しています。関連自治体への呼びかけ等を検討します。                      | —        |
| 21  | 修理キットの配置をしても、修理方法が分からなければ使えない。また、サイクリストは心得として、簡易の修理キットは常備している。大事なのは、事前の必要な基礎知識の啓発である。                | 快適なサイクリングの一助となるよう、修理キットを配置しています。基礎知識の習得については、サイクリスト個人によるものと認識しています。                  | —        |
| 22  | 自転車利用率を高めるには、市の職員が率先して通勤などで取り組む具体的な目標がある。  | 【39ページ】第3章 目標4 施策⑰ (3) に自転車通勤者数の向上について記載しています。まずは市の職員が率先して自転車を利用するよう取り組みます。          | —        |
| 23  | サイクルトレインは、予土線で実施された「混乗試験」などもご参考いただきたい。   | 【25ページ】第3章 目標1 施策④にJRとの連携について記載しています。自転車を車内にそのまま持ち込めるサイクルトレインについては、便数等を考慮してJRと検討します。 | —        |
| 24  | この計画案ならびに今までのフィジビリティ（実現可能性）で行われてきた施策（自転車関連のポタリングイベントやさいきりんぐなどのリーフレットなどの設置など）に関しての振り返りはされておられるのでしょうか？ | 今まで実施してきた施策については振り返りを行い、課題点等を次の施策に活かしています。   | —        |

| No. | 意見  | 回答   | 計画への反映箇所 |
|-----|---|--|----------|
| 25  | <p>これらの企画は、どのターゲット（年齢層や志向など）に対しての計画なのかがよくわかりませんでした。</p>   | <p>本計画に記載の企画（施策）については、内容が多岐にわたることから、企画毎にターゲットが変わるものと考えています。各企画を実行する際は、ターゲット層を明確にして取り組みます。</p>  | —        |
| 26  | <p>車ではなく自転車で街を闊歩できたらしのしいだろうとは思いますがその動機付け的なことも必要かなと思いました。自転車でダイエット的なものを組織化し、健康体の値になれば卒業できるような、自転車と食を掛け合わせたようなものなど、佐伯らしさも入れてもいいかもしれません。また、さくらホールでもいいですし、常に自転車の情報（たとえばツールドフランスなどの映像が鑑賞できたり、自転車関連の書籍が読めたり、できればグッズなどが販売されていたりする場の機会）が感じられるものがあるといいなと思いました。</p> | <p>【39ページ】第3章 目標4 施策⑰（3）に自転車通勤者数の向上について記載しています。この施策では、自転車通勤協力モデル事業所を募り、それぞれの事業所で自転車通勤率の向上に取り組んでもらうものです。モデル事業所に自転車通勤のポイント等を広報する予定にしていますので、いただいた意見を参考にさせていただきます。</p> <p>また、自転車の情報発信拠点について、サイクリングの拠点となるサイクルステーションが最適な場所と考えますので、今後検討します。</p> | —        |
| 27  | <p>せっかくのすばらしいプランもプロモーション次第では、まちそのもののイメージさえ崩す可能性があります。コスト見合いもあるとは思いますが、内製でプロモーションするのではなく、プロのPR会社やプロダクションと協業すべきではと感じました。</p>  | <p>今年度、サイクルツーリズムのPR動画をプロの映像制作会社にて制作しています。この動画を用いて、今後様々な場面でのプロモーションを検討しています。</p>  | —        |